

阿蘇市総合計画

後期基本計画の策定にあたって



平成17年2月に新生「阿蘇市」が誕生し、早や6年が経過しました。新市スタートを機に、阿蘇市では、『『緑いきづく火の神の里』～豊かな自然と笑顔あふれる国際環境観光都市を目指して～』を将来のあるべき姿に掲げ、10年間のまちづくりの指針となる「阿蘇市総合計画（基本構想）」を策定、平成18年度から平成22年度までの5年間で「前期基本計画」として取り組みを進めてまいりました。

また、計画の推進にあたっては、多様化する住民ニーズや複雑化する課題に素早く対応すべく、行財政改革を進めながら、時代の求めに即応できる行政の確立と足腰の強い健全な行政運営を目指し、市民の方々の安心・安全な暮らしの実現に向け、市民の思いを大切にしたい体的なまちづくりに取り組んできました。

今、日本社会は、世界的な不況による日本経済の長期低迷、急速な少子高齢化の進行や人口減少社会の加速、また、温暖化をはじめとする地球環境問題、さらには家畜伝染病（口蹄疫）や日本列島を震撼させる大災害など予期せぬ課題に直面しています。

一方、地方行政においても、地方分権や地域主権、権限移譲など、真の地方自治確立に向けた動きが加速し、市町村自らが、自己決定・自己責任の下、主体的かつ発展的に行政運営に取り組むよう求められています。

阿蘇市では、前期基本計画の結果を踏まえ、これらの新たな行政課題にも柔軟に対応できるよう市民アンケートをはじめ、市政モニター会議やパブリックコメント、市議会への説明や地域審議会への諮問などを経て、あらゆる立場の方々の意見を集約、幅広い議論を行い、安心・安全な住みよい未来への礎ともいえる今後5年間の施策目標「阿蘇市総合計画後期基本計画」を策定しました。

策定にあたり頂きましたご意見を真摯に受け止め、今まで以上に市民の皆様方との連携・協働を図りながら、市民の皆様が心から誇りに思える阿蘇市を目指し、また、本市を訪れる方々に慕われ感動を与えることのできる活力ある地域にしていかなければならないと強く感じているところです。

結びに、これまで長い期間ご協力いただきました皆様方に厚く感謝申し上げますとともに、新生阿蘇市への市民の皆様方の限りない積極的な参画を切に願い、阿蘇市総合計画「後期基本計画」策定にあたっての挨拶といたします。

平成23年3月

阿蘇市長 佐藤義興